

INFORMATION

【期間：平成27年】

生化学セミナー

テーマ：タンパク質間相互作用を標的とした *in silico* 創薬手法の開発と実践 –アポトーシス/炎症制御性化合物の創製–

東京理科大学薬学部生化学教室の田沼靖一教授をお迎えし、学類・大学院学生、医学薬学研究者を対象としたセミナーを開催する。
in silico 創薬手法の開発では大変ご高名な先生から最適医薬分子を創る理論と実践につきご講演いただく。

日時：2015年4月9日（木） 10：30～11：30

場所：金沢大学角間キャンパス 旧イノベ棟

主催：血管分子生物学分野 共催：先端科学・イノベーション推進機構

TEL 076-265-2181 E-mail: yasuyama@med.kanazawa-u.ac.jp

脳・肝インターフェースメディシン研究センターセミナー /MRTプログラムセミナー

日時：平成27年4月10日（金） 17：00～18：00

場所：金沢大学宝町医学部B棟1階 小会議室

演者：岸 拓弥 先生 九州大学循環器病未来医療研究センター未来心血管治療学共同研究部門 部門長 准教授

演題：「脳の入出力伝達関数でフィードバック制御する神経刺激デバイス開発へ ～脳はすごい～」

連絡先：脳・肝インターフェースメディシン研究センター 生体統御学部門 井上 啓 (076-265-2840)

第1回金沢肝胆膵病理講習会

この第1回金沢肝胆膵病理講習会は、肝臓、胆道、膵臓の病理学に関する学術研究の発表と意見の交換、会員相互の親睦を深めることを目的としております。年1～2回の講習会を開催し、世界各国および国内において、活発に肝胆膵病理学の研究、診療に従事し、国際的にも学術的評価の高い基礎研究者および臨床医との交流を図るために平成27年3月に設立いたしました。初開催となる今回は、USAでご活躍中のマサチューセッツ総合病院病理部、ハーバードメディカルスクール病理学助教授のMari Mino-Kenudson 先生にお越しいただき、膵癌についての教育講演を企画いたしました。また講演の後に症例検討会も予定しております。

日時 平成27年4月27日（月） 18：00～19：30

場所 金沢大学医学図書館2F 十全記念スタジオ

概要 特別講演 Mari Mino-Kenudson 先生
症例検討

テーマ 膵癌

連絡先 金沢大学医薬保健研究域医学系 形態機能病理学 原田憲一

TEL 076-265-2197 FAX 076-234-4229

ウイルス感染症制御学特別講演会

テーマ：Establishment of human Scavenger receptor B2 transgenic mice as a model for enterovirus 71 infection

開催日：5月18日（月） 16：30～17：30

場所：医学類F棟1階 修士課程セミナー室

連絡先：ウイルス感染症制御学 TEL 076-265-2229 E-mail: virus@med.kanazawa-u.ac.jp

この度、(公財)東京都医学総合研究所 ゲノム医科学研究分野ウイルス感染プロジェクト プロジェクトリーダーである小池 智先生をお呼びして“Establishment of human Scavenger receptor B2 transgenic mice as a model for enterovirus 71 infection”のテーマで講演を行います。

第5回MRTプログラム・リトリート

MRTプログラムとはMedical Research Trainingの頭文字をとったプログラムのことで、明日の医療を開拓する人材（研究医）を育成することをミッションとしている。臨床医師の養成のみならず医学研究者の育成をも責務とする本学医学類は、学生のうちから研究活動に参加する研究医養成プログラム「MRTプログラム」を採用している。本プログラムに参加した学生は、医学類の正式科目と並行しながら放課後や休暇期間などを利用して各研究室で行われる研究や論文抄読会などに参加し、実験技術およびresearch mindの会得を目指す。現在、学類生の60余名が参加している。学内における研究成果の発表の場として、学会形式で行われる研究発表会「MRTリトリート」を年2回開催している。前回までの教員の主導型から、今回のリトリートは学生が主体となり、プログラムの選定から会場の設営まですべてを学生が運営することになる。教員と学生の親睦をはかるための懇談会も開催される。

開催日時：平成27年6月16日（火） 18：00～

開催場所：十全記念スタジオ（医学図書館2階）

主催：医学類教育委員会

連絡先：分子神経科学・統合生理学 TEL:076-265-2171 E-mail：mieda@med.kanazawa-u.ac.jp

第13回日本予防医学会学術総会

メインテーマ：地方から新しい予防医学を創生する

会期：平成27年6月20日（土）～6月21日（日）

会場：フレンドパーク石川（石川県勤労者福祉文化会館）

大会長：中村 裕之（金沢大学医薬保健研究域医学系環境生態医学・公衆衛生学教授・革新予防医科学教育研究センター長）

主催：一般社団法人日本予防医学会

問い合わせ先：第13回日本予防医学会学術総会事務局（担当：神林（事務局長）、杉原）

TEL：076-265-2218 E-mail：yobou13@med.kanazawa-u.ac.jp

内容：本学術総会では、「地方から新しい予防医学を創生する」をメインテーマに掲げ、更なる予防医学の発展を社会にアピールするシンポジウムなどを企画しています。

シンポジウム1: 糖尿病克服に向けた地方からの挑戦

シンポジウム2: 職場の発達障害の理解と対応

シンポジウム3: 住まいからみた文化と健康－地方から新しい予防医学を創生する－

市民公開シンポジウム: PM2.5の環境問題の現状と課題

神経分子標的学セミナー

演題：多能性幹細胞としての虚血ペリサイト

演者：松山知弘 先生

（兵庫医科大学先端医学研究所 神経再生研究部門 教授）

日時：平成27年6月24日（水） 18時から19時30分まで

場所：金沢大学医学類 第2講義室

問い合わせ先：金沢大学医薬保健研究域医学系 神経分子標的学（解剖学第三） 堀 修

Tel: 076-265-2162 mail: osamuh3@staff.kanazawa-u.ac.jp

松山先生は、これまでにマウス脳梗塞巣内に通常のものとは異なる神経幹細胞（傷害誘導性神経幹細胞: injury-induced neural stem cell; iNSPC）が存在することを報告されてきました。今回のセミナーでは、iNSPCが脳血管周皮細胞（ペリサイト）由来であり、脳傷害後の多能性幹細胞として脳組織の再構築に関与することを発表して頂きました。

第28回生命工学トレーニングコース「遺伝子工学基礎技術コース」 /ゲノム機能解析分野サイエンスセミナー

学際科学実験センターでは、毎年3回「生命工学トレーニングコース」を開催しておりますが、本年度も「遺伝子工学・基礎技術コース」(遺伝子研究施設担当)を開催いたします。今回は、基礎的な遺伝子工学技術に加え、「動物細胞への遺伝子導入法」を利用した先進的遺伝子工学技術の習得を目的とします。また、特別サイエンスセミナーとして、上田 潤 先生(中部大学・実験動物教育研究センター)に、「腫瘍形成過程、発生過程でのエピジェネティクス・クロマチン動態解析」のタイトルでご講演頂く予定です。

<トレーニングコース>

日時：2015年7月14日(火)～7月17日(金) 場所：学際科学実験センター 遺伝子研究施設

<サイエンスセミナー>

日時：2015年7月17日(金) 15:00～16:30 場所：医学図書館 十全記念スタジオ

対象：大学、病院、試験研究機関、民間企業の研究者、技術者および大学院生等

連絡先：学際科学実験センター 堀家 慎一

TEL：076-265-2775, E-mail: sihorike@staff.kanazawa-u.ac.jp

Asian Pacific Prion Symposium 2015

開催日：平成27年9月4日-5日

開催場所：石川県立音楽堂

連絡先：金沢大学医薬保健研究域医学系脳老化・神経病態学

TEL 076-265-2298 E-mail:apps2015@med.kanazawa-u.ac.jp

<http://www.apps2015.jp/index.html>

わが国ではプリオン病と疑われた症例を専門医が全例実地調査するという、精密な全国サーベイランス調査を1999年から行っており(CJDサーベイランス委員会)、わが国が中心となって、アジアおよび環太平洋地域の疫学データを比較・検討することは非常に重要である。また、わが国は診断法開発や治療法開発研究も非常に盛んで、わが国では臨床試験に向けての準備も開始されている。しかし、症例数が少ない疾患であり、臨床試験に必要な症例数を確保するには海外の研究者との協力が重要であり、その意味でも本シンポジウムは非常に重要な意味を持つ。

第32回日本臨床細胞学会北陸支部連合会学術集会

日時：平成27年 9月6日(日) 11時～18時

場所：金沢大学附属病院 4階 宝ホール

セッション：一般演題 9題

スライドセミナー 3題

特別講演 「尿細胞診の統一報告様式と臨床への応用」

名古屋第二赤十字病院 病理診断科部長 都築 豊徳 先生

教育講演 「FISHを用いた膀胱癌の遺伝子増幅の検索」

金沢大学分子細胞病理学 教授 大井 章史

本集会は今回で32回を数える歴史と伝統ある集談会であり、石川、富山、福井3県の細胞診に携わる医師、細胞診指導医、細胞検査士や技師など150名近くが一同に集まります。

一般細胞診、婦人科細胞診の口演による発表、上記に記した特別講演および教育講演を予定しております。この集談会を通して得られた最新の情報は、北陸地方全般における細胞診断業務の進歩、向上につながるものと確信しております。

世話人：金沢大学分子細胞病理学 大井 章史

脳神経医学リサーチミーティング

神経発達における神経伝達物質 GABA の役割の世界的研究者である Ben-Ari 先生が金沢にお越しになられるのを機会に、Ben-Ari 先生を交えて脳神経系研究に関する研究発表討論会を行いました。脳神経系に関する幅広い研究成果をご紹介頂くとともに、ざっくばらんに討論ができました。各研究室のスタッフはもちろんのこと、大学院生や学部学生にも広く開放して、最新の神経科学の研究成果を知る良い機会となりました。

場所：金沢大学十全講堂・2階会議室

日時：2015年9月10日午後4時-6時

主催：金沢大学医学系脳細胞遺伝子学・神経分子標的学

TEL：076-265-2365 E-mail：kawasaki@med.kanazawa-u.ac.jp

2015 Cancer Research Institute Kanazawa University and Fudan University Shanghai Cancer Joint Symposium

開催日時：平成27年9月11日13：30～

開催場所：医学部記念館

主催：金沢大学がん進展制御研究所

復旦大学上海がん病院(中国)

内容：金沢大学がん進展制御研究所が部局間協定を締結している、復旦大学上海がん病院から研究者を招へいし開催する、合同シンポジウムです。本年度は、Novel Aspects of Tumor Biology と Novel Cancer Treatment Strategies の2つのセッションで、双方の研究機関から合わせて8名の演者が最新の研究成果を発表する。なお、本シンポジウムは、医薬保健学総合研究科・医学博士課程の授業の一環としても行われる。

幹細胞生物学セミナー

日時：2015年9月15日(火) 18:00-19:30

場所：医学図書館 十全スタジオ

演者：湯本 史明 先生 高エネルギー加速器研究機構 特任准教授

演題：転写因子複合体の構造生物学

連絡先：再生分子医学 赤木紀之 <tadayuki@staff.kanazawa-u.ac.jp>

共催：血管医学ポストゲノムセミナー／医学類MRTプログラムセミナー

第28回 Neuroscience Seminar

テーマ 「新規創薬標的としての細胞内主要ATPase, VDP」

京都大学大学院 生命科学研究所・高次生体統御学分野 垣塚 彰 教授

平成27年9月24日(木) 18時30分～19時30分 金沢大学医学部B棟1階小会議室

このたび、京都大学大学院生命科学研究所・高次生体統御学分野教授の垣塚 彰先生をお招きしてセミナーを開催致します。垣塚先生は、神経科学の分野では遺伝性脊髄小脳変性症の原因遺伝子を発見され、ポリグルタミン病の概念を提唱された方としてご高名ですが、最近では抗肥満・抗糖尿病作用をもつERRL1遺伝子の同定など、多方面で業績をあげられています。今回、学部学生の特別講義のために金沢にお越しいただく機会に御講演をお願いいたしました。大変興味深いお話を拝聴できるものと思います。どうぞお気軽に御参加ください。

第6回金沢大学学際科学実験センターシンポジウム

学際科学実験センター主催のシンポジウムを11月13日（金）午後1時より金沢大学附属医学図書館、十全記念スタジオにて開催いたします。女性生殖組織の機能と疾患をテーマとして、この分野で精力的に研究されている6人の先生にご講演いただくことになりました。皆様お誘いの上、是非ご出席くださいますようご案内申し上げます。

プログラム

馬場 長 講師（京都大学 医学部 産婦人科）

「難治性子宮体癌における治療ターゲットの探索」

織田 克利 准教授（東京大学大学院 医学系研究科 産婦人科学講座 生殖腫瘍学分野）

「子宮体癌における分子標的治療法への期待 ～RAS/PI3K経路を中心に～」

杉浦 幸二 准教授（東京大学大学院 農学生命科学研究科 応用動物科学専攻・応用遺伝子学研究室）

「卵分泌因子と卵胞発育」

廣田 泰 講師（東京大学医学部附属病院 女性診療科・産科）

「黄体ホルモンが調節する子宮内膜の胚受容能」

加藤 恵一 院長（加藤レディースクリニック）

「内因性のホルモン分泌を活用した、自然周期排卵・胚移植」

藤原 浩 教授/科長（金沢大学医薬保健研究域医学系 分子移植学/金沢大学付属病院 産婦人科）

「末梢血循環細胞による胚着床誘導機構」

連絡先：金沢大学 学際科学実験センター 遺伝子改変分野 大黒多希子

TEL:076-265-2460 Email: tdaikoku@kiea.m.kanazawa-u.ac.jp

第106回日本消化器内視鏡学会北陸支部例会

本会は、消化器内視鏡及びこれを用いた治療法等に関する研究、教育並びに診療の向上を図るとともに、学術及び文化の発展に寄与し、もって人類の福祉に貢献することを目的としています。平成27年11月29日（日）に、第106回日本消化器内視鏡学会北陸支部例会を石川県地場産業振興センター新館にて開催することとなりました。本会には、北陸3県の消化器内科、消化器外科の医師が一同に会し、厳選された多くの研究発表に対し、活発な討議がなされるものと予想されます。

開催日：平成27年11月29日

場 所：石川県地場産業振興センター新館

問い合わせ先：金沢大学大学院医学系研究科がん局所制御学 TEL 076-265-2362 FAX 076-234-4260

（金沢大学 消化器・腫瘍・再生外科）

事務局長 伏田 幸夫

CONTENTS

Toshinari Minamoto : Integrative Biomedical Research and Clinical Activity 19

[Reviews]

Tadayuki Akagi : Involvement of transcription factor C/EBP family in myelopoiesis 20

Tomoharu Miyashita : A Three-Phase Approach and strategy for the Early Identification
of Organ dysfunction Induced by Severe Sepsis 24

Hiroshi Fujiwara : The mechanisms to induce embryo implantation 29

Toshinari Takamura : Crosstalk among nutrient metabolism pathways
to keep energy homeostasis and its disruption 31

Emi Hasegawa : Orexin neurons suppress narcolepsy via 2 distinct efferent pathways 33

**Tanaka Y, Nishi T, Takase K, Yoshita Y, Wato Y, Taniguchi J,
Hamada Y, Inaba H :** Survey of a Protocol to Increase Appropriate Implementation
of Dispatcher-Assisted Cardiopulmonary Resuscitation
for Out-of-Hospital Cardiac Arrest 37

Lan Fei : LECT2 functions as a hepatokine that links obesity to skeletal muscle
insulin resistance. 39

Mutsumi Date : The inhibitor of p38 MAP kinase suppresses skin fibrosis
in the sclerodermatous chronic GVHD. 41

Yusuke Seki : Comparison of filtering bleb appearance and intra ocular pressure
after limbal or fornix-based trabeculectomy 43

Hiroyuki Nakamura : The 13th Annual Meeting of Japanese Society of Preventive Medicine 45

Shinichi Horike : The 28th Research training course for life science and medical science 46

Akishi Ooi : the 32th Annual Local Meeting (The Hokuriku Branch) of The Japanese Society
of Clinical Cytology 47

複写をご希望の方へ
金沢大学十全医学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。

本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けて下さい。但し、企業等法人による社内利用目的の複写については、当該企業等法人が社団法人日本複写センター((社)学術著作権協会が社内利用目的の複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はございません(社外頒布目的の複写については、許諾が必要です)。

権利委託先 一般社団法人学術著作権協会
〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3F
FAX : 03-3475-5619 E-mail : info@jaacc.jp

複写以外の許諾(著作権の引用、転載、翻訳等)に関しては、(社)学術著作権協会に委託致しておりません。

直接、金沢大学十全医学会へお問い合わせ下さい。

問い合わせ先 金沢大学十全医学会
TEL : 076-265-2131 FAX : 076-234-4208
E-mail : kenkyu@adm.kanazawa-u.ac.jp

金沢大学十全医学会編集委員

井 関 尚 一 (委員長), 市 村 宏, 絹 谷 清 剛, 谷 井 秀 治,
土 屋 弘 行, 松 本 邦 夫, 山 岸 正 和

平成 27 年 7 月 発行
(日本出版協会会員番号 B111010)

編集者・発行者 井 関 尚 一
発行所 金沢大学十全医学会
〒920-8640
石川県金沢市宝町13-1
TEL:(076)265-2131 FAX:(076)234-4208